

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① ゴミ袋作成委託業務	ゴミ袋を委託により作成し、商工会議所等に販売を委託する。	ゴミ袋作成枚数	千枚	2,960	2,880	2,940	2,946
② 生ゴミ処理機等購入費補助事業	生ゴミ処理機やコンポストの購入等に対し補助金を交付する。	補助金交付件数	件	85	94	60	60
③ ゴミ収集カレンダー等作成業務	ゴミ収集カレンダー等を委託により作成し各世帯に配布する。	ゴミ収集カレンダー作成部数	部	32,200	32,200	32,200	32,200
④ ゴみ分別等相談・啓発業務	ゴミ分別相談・苦情受付・指導・啓発を行う。	-	-	-	-	-	-
⑤ ゴみ集積場所等管理業務	集積場所の新設・移設・廃止を管理する。	-	-	-	-	-	-

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 ゴミ資源化率	資源ごみ収集量/ごみの全体収集量	%	11.3	11.0	10.4	9.6
			11.0	10.4	9.6	
2						

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	廃棄物の3R(排出抑制・再利用・再生利用)推進、ごみの減量化や環境への負荷が少ない循環型社会の実現が困難なものとなる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	ごみの量が若干増加していることから、市民への分別への意識啓発を根気よく続け、ごみ減量化と循環型社会形成の構築に向けて事業を行う。
昨年からの見直し・改善状況【32】	ごみ・資源収集カレンダーの分別方法等の分かり易く改訂して、市内全戸に配布した。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	循環型社会の実現のため今後も事業は継続する。	評価責任者 西川 正美
------------------	------------------------	----------------